



輸送業のSDGs入門

SDGs※(エスディーゼーズ)は、2030年に向けて先進国を含む国際社会全体が、持続可能でより良い世界を目指すための国際目標(持続可能な開発目標)です。17の目標(ゴール)と169のターゲットで構成されており、これらの目標は世界が直面している解決すべき課題になります。

今回は、SDGsを進める「5ステップ」と運輸業界で取り組まれている事例について紹介します。

※: Sustainable Development Goals

Step2「課題を明らかにし、優先課題を決定」

Step3「目標を設定」



SDGsに取り組む際、まずは自社が抱える課題を明らかにして、解決すべき優先順位を決めます。また課題に対して、自社が現在どのような活動を行っているのか棚卸しをしてみましょう。

そして次のステップとして、その活動がSDGsの17の目標のうち、いずれに貢献しているのか検討し、目標を設定します。SDGsとの関連性を、下記の取り組み事例にあるような「誰にでも分かる」アイコンを使えば、活動の社内浸透を図る上で効果的です。

SDGsを進める「5ステップ」

輸送業界のSDGs取り組み事例

輸送業界において、日頃からの取り組みがSDGsの目標と紐づいている場合があります。ここでは、各目標の達成に向けて事業者で取り組まれているSDGsの事例を見てみましょう。

A社の取り組み例(抜粋) (一般貨物運送業/従業員数:約70名)

SDGsの達成に向けた具体的な取り組み

「環境対策」に向けて

- 「エコドライブの推進」
- 「実車率の向上」など



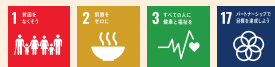
「物流品質向上」に向けて

- 「加速度センサー付きドラレコの導入」
- 「クラウド運行管理システムの導入」など



「社会貢献」に向けて

- 「ペットボトルキャップの社内回収・寄付」
- 「地元人材の積極採用」など



SDGsの取り組みに貢献!



再生パワーで生まれる電力を冷凍・冷蔵にも活用する、日野プロフィア クールハイブリッド



日野プロフィア ハイブリッドについて詳しくはこちらから

再生エネルギーを活用して、冷凍コンプレッサーを駆動。安定した冷凍能力を発揮するとともに、メンテナンスの手間や燃料費負担の軽減に貢献します。



- ポイント1** 休憩、荷待ちでもアイドリング不要
ハイブリッドバッテリーがエンジン停止時に一定時間冷却
- ポイント2** クールダウン性能がさらに向上
高出力モーターの採用により、冷やす力も向上
- ポイント3** メンテナンスの負担を軽減
冷凍機ユニットの部品点数が少ないシンプルな構造